

## 1. 我が国の温室効果ガス排出動向

我が国の温室効果ガス総排出量は、2001年度において12億9940万トン（二酸化炭素換算）であり、京都議定書の規定による基準年（1990年、ただし、HFCs、PFCs及びSF<sub>6</sub>については1995年）の総排出量（12億3530万トン）と比べ、5.2%の増加となっている。このうち、二酸化炭素の排出量は12億1370万トンで全体の約93%を占めている（表1、図1）。

表1 各温室効果ガス排出量の推移

	GWP	京都議定書の基準年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出	1	1,122.1	1,122.1	1,131.2	1,148.7	1,140.4	1,200.2	1,210.9	1,231.2	1,226.8	1,195.0	1,228.2	1,238.7	1,213.7
メタン (CH <sub>4</sub> )	21	24.7	24.7	24.6	24.5	24.4	24.0	23.3	22.9	22.1	21.5	21.3	20.9	20.3
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	310	40.2	40.2	39.7	39.9	39.7	40.6	40.8	41.7	42.2	40.8	35.1	37.8	35.4
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	HFC-134a : 1,300など	20.0						20.0	19.6	19.6	19.0	19.5	18.3	15.6
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	PFC-14 : 6,500など	11.5						11.5	11.3	14.0	12.4	11.1	11.5	9.9
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	23,900	16.7						16.7	17.2	14.4	12.8	8.4	5.7	4.5
計		1,235.3	1,187.0	1,195.5	1,213.2	1,204.5	1,264.8	1,323.3	1,343.9	1,339.1	1,301.6	1,323.6	1,332.9	1,299.4

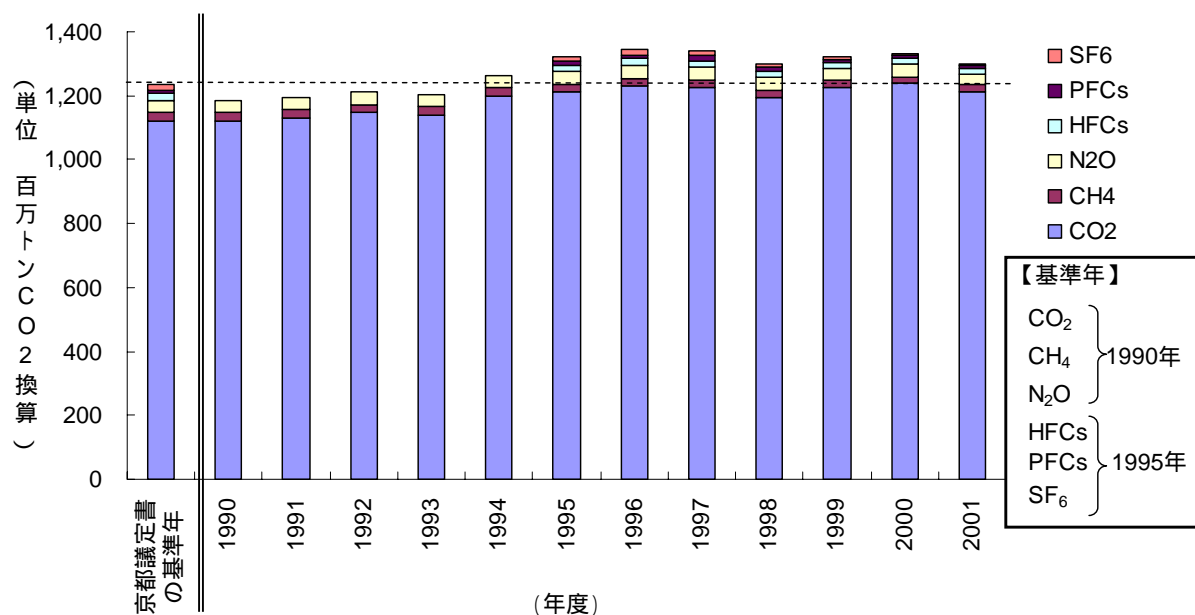


図1 温室効果ガス総排出量の推移

2001年度の二酸化炭素排出量は12億1370万tCO<sub>2</sub>、一人当たり二酸化炭素排出量は、9.53tCO<sub>2</sub>/人である。これは、1990年度と比べ排出量で8.2%、一人当たり排出量で5.0%の増加である。また、前年度と比べると排出量で2.0%の減少、一人当たり排出量で2.3%の減少となっている（図2）。

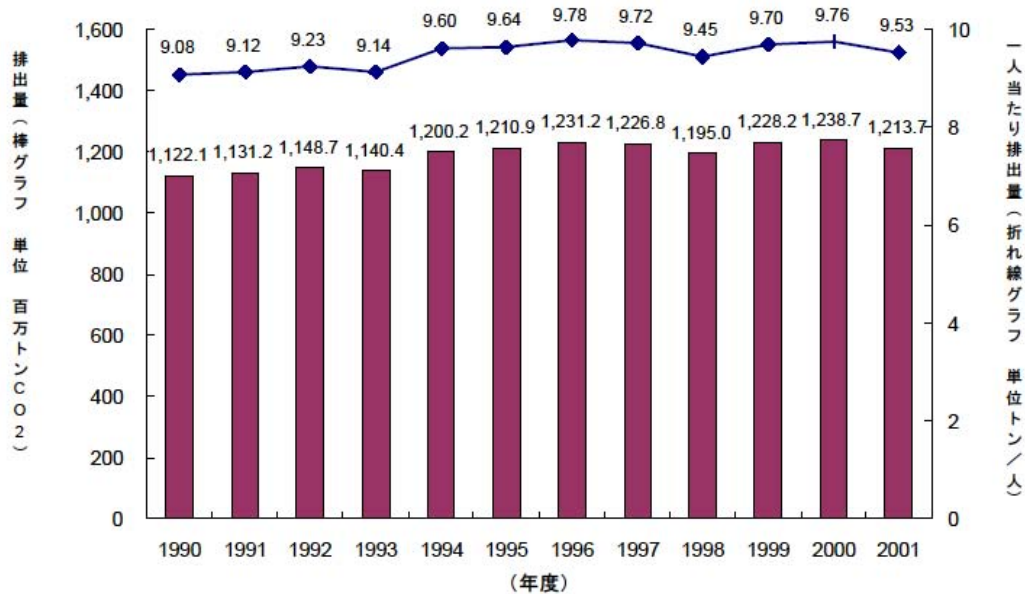


図2 二酸化炭素排出量の推移

二酸化炭素の排出量のうち、住宅におけるエネルギー消費に由来する家庭部門の排出量は1990年度から19.4%増加して全体の11.9%を占めている。業務系施設等を含む民生その他部門の排出量は1990年から30.9%増加しており、全体の14.5%を占めている。なお、民生その他部門には、事務所、商業施設等、通常概念でいう業務に加え、中小製造業（工場）の一部や、一部の移動発生源が含まれる。

運輸部門の排出量は全体の22%を占め、産業分野に次ぐ排出量となっており、排出量の伸びも1990年比22.8%増となっている（図3）。

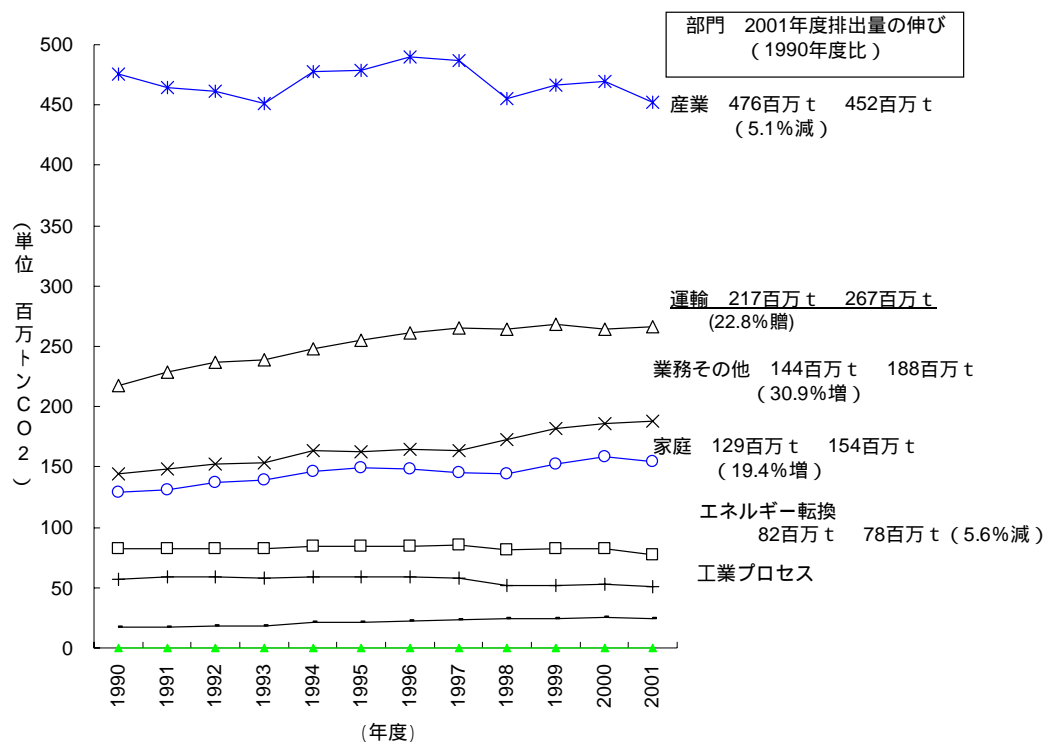


図3 二酸化炭素の部門別排出量の推移